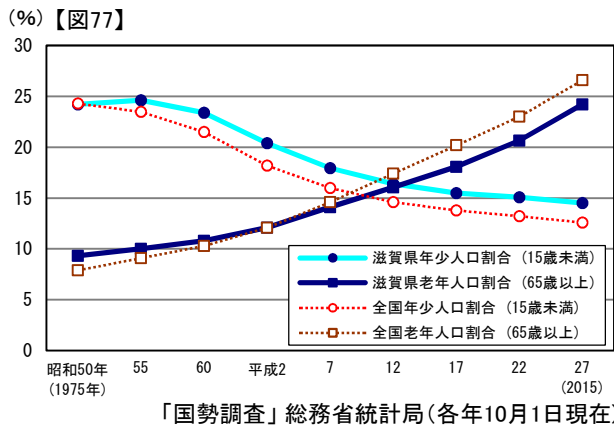
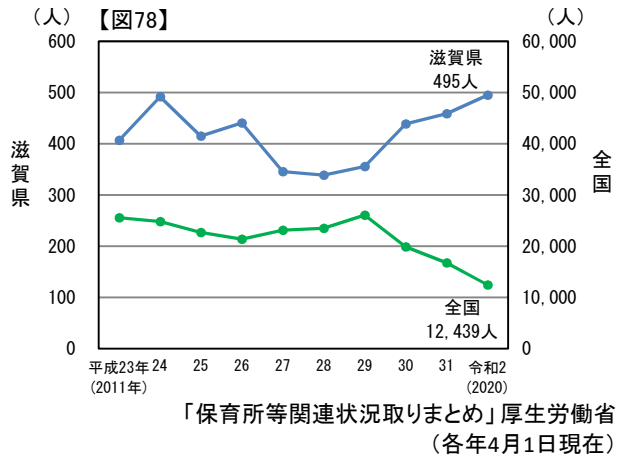


健康・福祉

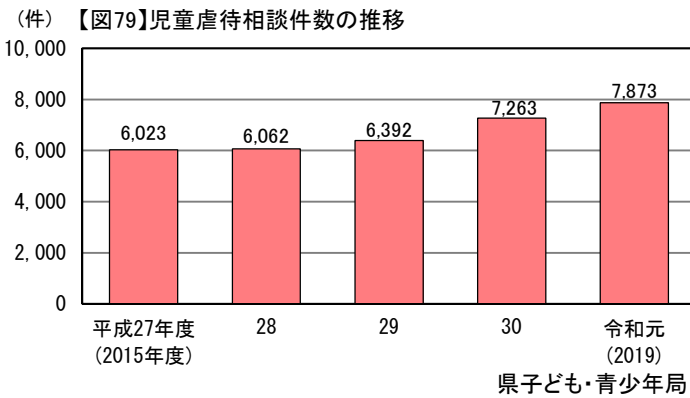
■年少人口と老年人口割合の推移



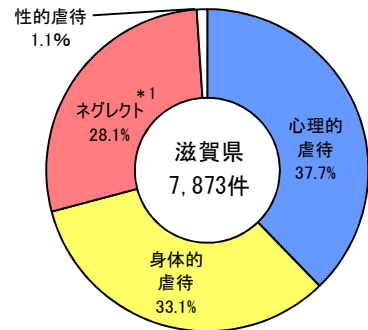
■保育所待機児童数の推移



■児童虐待相談件数

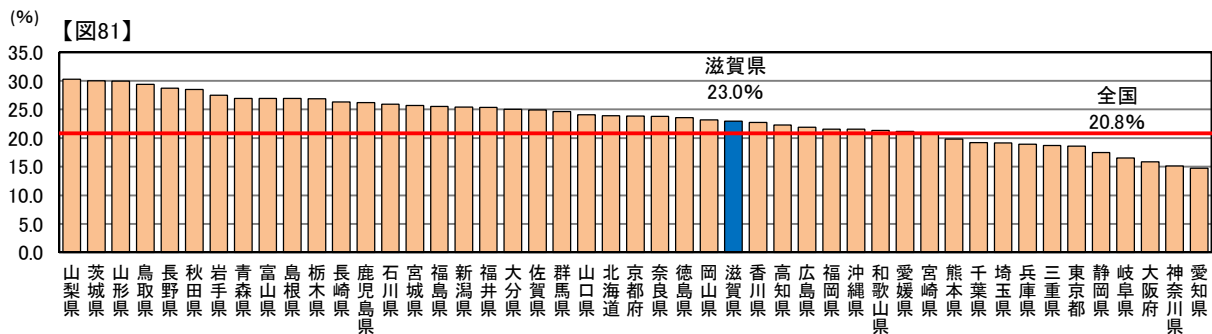


【図80】児童虐待相談件数の割合



*1 保護の怠慢ないし拒否
県子ども・青少年局(令和元年度)

■小学校の児童数に占める放課後児童クラブ登録児童数の割合

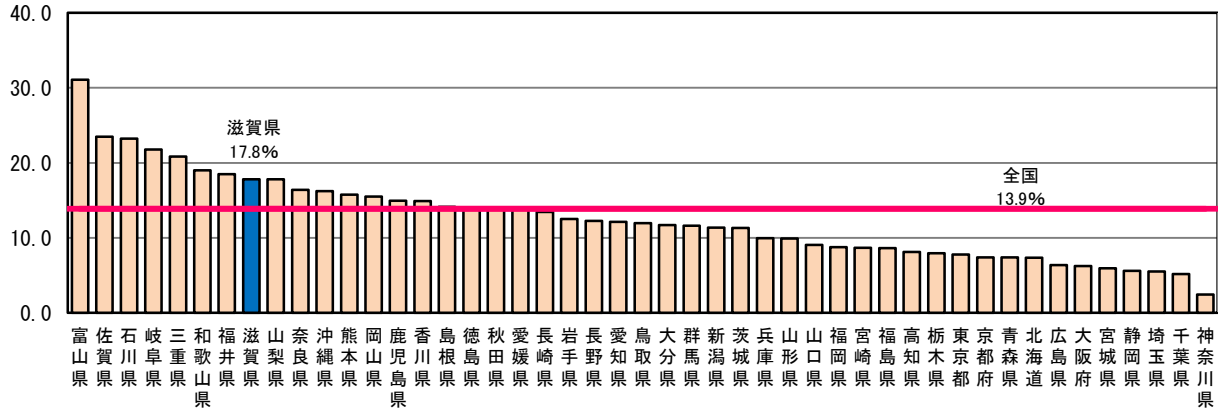


放課後児童クラブ登録児童数:「令和2年放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の実施状況」厚生労働省(令和2年7月1日現在)
児童数:「学校基本調査」文部科学省(令和2年5月1日現在)

- ・平成27年10月1日現在の年少人口割合(15歳未満)は14.5%(全国平均12.6%)、老年人口割合(65歳以上)は24.2%(全国平均26.6%)である。(図77)
- ・令和2年4月1日現在の保育所待機児童数は、全国は12,439人で前年より4,333人減少したが、滋賀県は495人で36人増加した。(図78)
- ・児童虐待相談件数は増加傾向にある。令和元年度に寄せられた相談では、心理的虐待の割合が37.7%と最も高い。(図79)(図80)
- ・令和2年7月1日現在の小学校児童数に占める放課後児童クラブ登録児童数の割合は23.0%(全国平均20.8%)で、全国28位である。(図81)

■ 老人クラブ

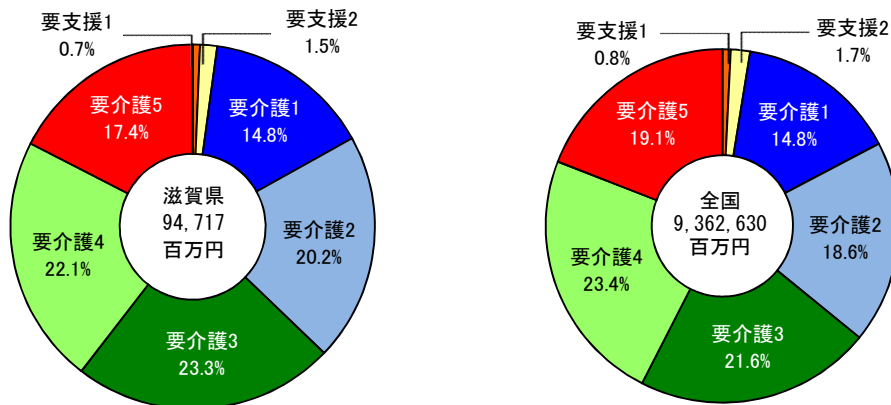
(%) 【図82】65歳以上人口に占める老人クラブの会員割合



老人クラブ会員数:「福祉行政報告例」厚生労働省(令和2年3月31日)
人口:「人口推計」総務省統計局(令和元年10月1日)

■ 介護

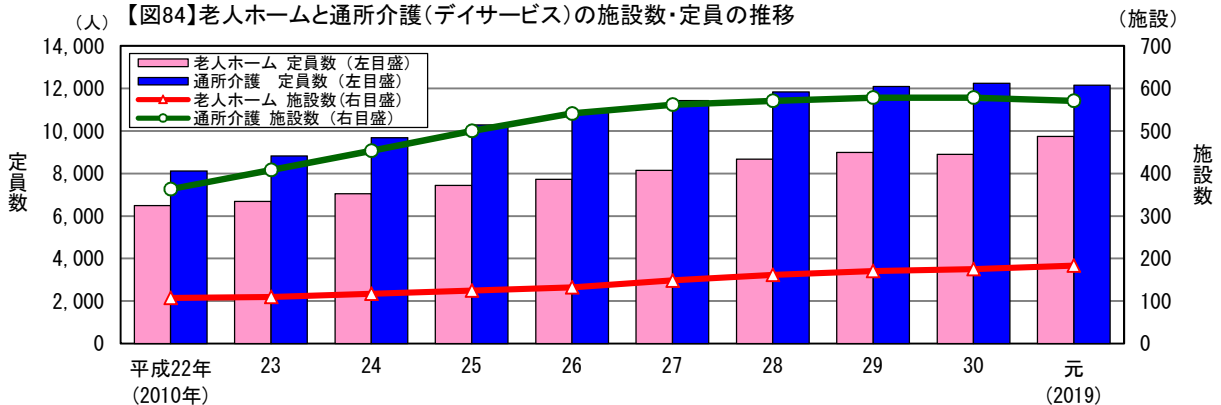
【図83】介護保険給付額の割合(令和元年5月~令和2年4月審査分)



※1 総額には、月の途中で要支援から要介護、要介護から要支援に変更となった者を含む。

「介護給付費等実態統計」厚生労働省(令和元年度)

【図84】老人ホームと通所介護(デイサービス)の施設数・定員の推移



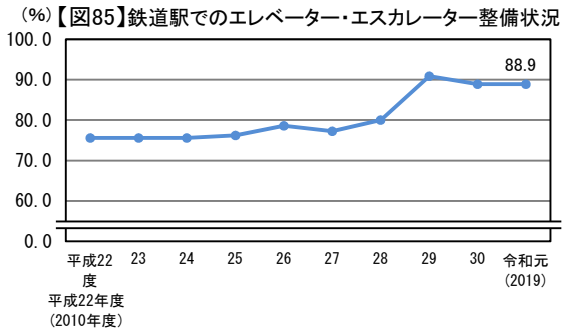
※2 通所介護には、平成28年から地域密着型通所介護含む。 老人ホーム:各年3月31日現在、通所介護:各年10月1日現在
県医療福祉推進課

・令和元年度の老人クラブ会員数は65,596人で65歳以上人口の17.8%(全国平均13.9%)を占め、割合は全国8位である。(図82)

・令和元年度の介護保険給付額は947億円である。そのうち要介護認定の割合は97.8%で、全国(97.5%)とほぼ同率である。(図83)

・令和元年の老人ホームの施設数は183施設、定員数は9,747人、通所介護(デイサービス)の施設数は571施設、定員数は12,149人となっている。(図84)

■ バリアフリー化 (福祉のまちづくりの推進)

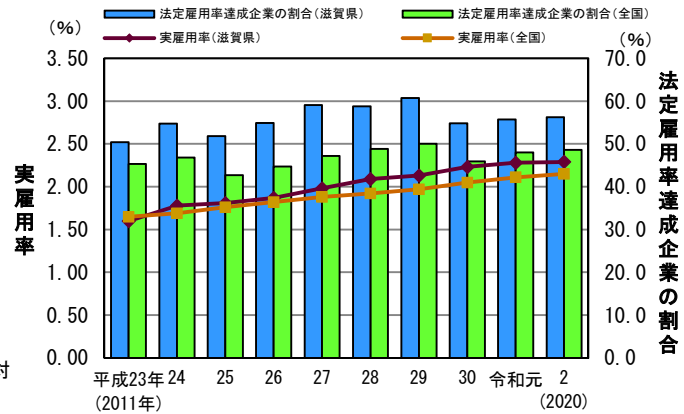


※3 3,000人/日以上乗降客がある駅を対象としているため、対象となる駅数の増加により進捗率が下がる場合があります。

県交通戦略課

■ 障害者雇用

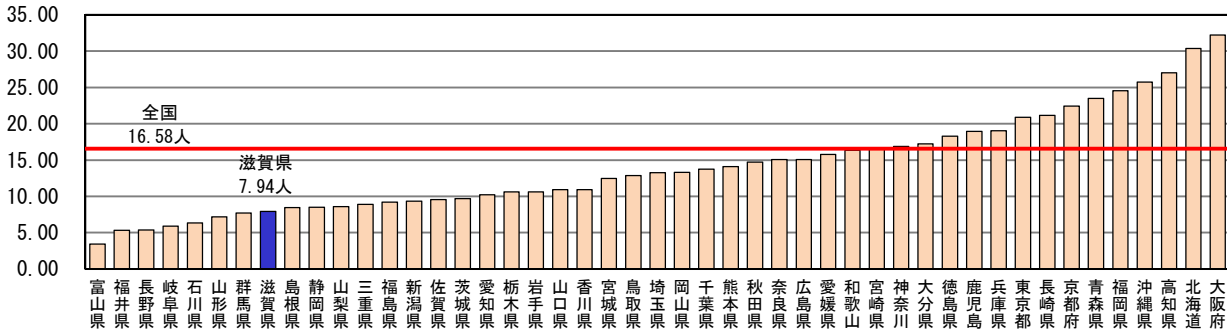
【図86】一般の民間企業における実雇用率の推移



「障害者雇用状況報告の集計結果」厚生労働省滋賀労働局 (各年6月1日)

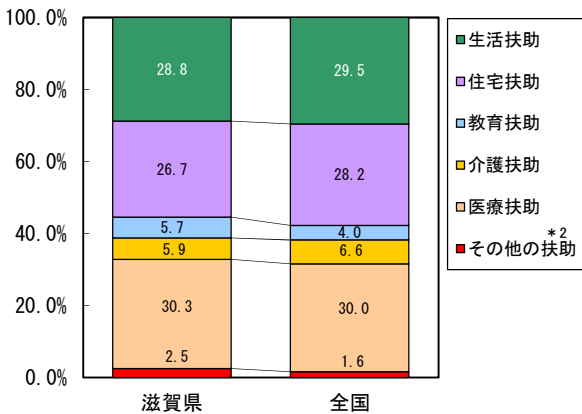
■ 生活保護

【図87】生活保護被保護実人員(月平均人口千人当たり)



「統計でみる都道府県のすがた 2021」総務省統計局(平成30年度)

【図88】生活保護扶助の種類別人員割合*1



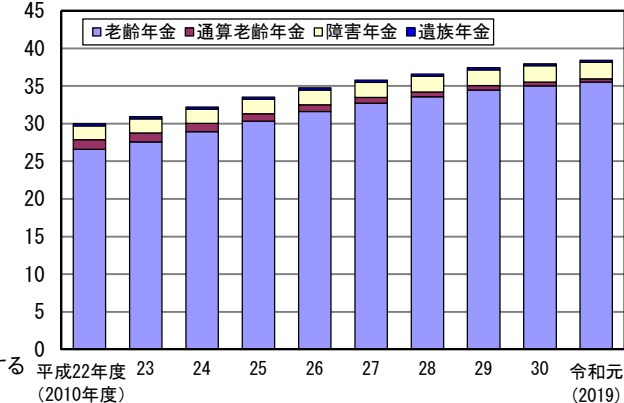
*1 扶助の種類別延人員(滋賀県 33,864人、全国6,301,486人に対する割合(被保護実人員は滋賀県11,037人、全国2,068,958人))

*2 「その他の扶助」は、「出産扶助」「生業扶助」「葬祭扶助」の合計

「被保護者調査(年次調査/個別調査)」厚生労働省 (平成30年7月31日現在)

■ 国民年金

【図89】国民年金の受給件数の推移

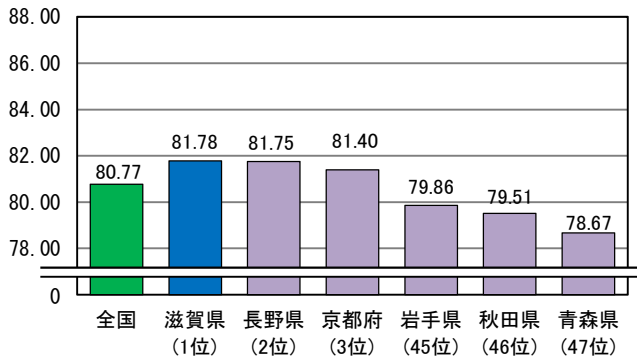


日本年金機構大津年金事務所

- 令和元年度の鉄道駅におけるエレベーター・エスカレーターの整備状況は88.9%であった。(図85)
- 令和2年6月1日現在の障害者実雇用率は2.29%(全国平均2.15%)、法定雇用率達成企業の割合は56.2%(全国平均48.6%)であった。(図86)
- 平成30年度の生活保護被保護実人員(月平均人口千人当たり)は7.94人(全国平均16.58人)で全国で8番目に低い。(図87)(図88)
- 令和元年度末現在の国民年金の受給件数は384,418件であった。(図89)

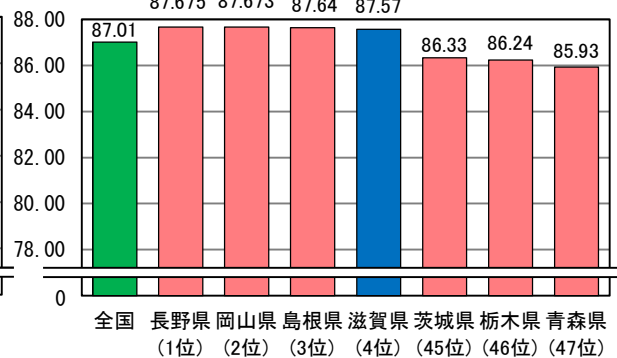
■ 平均寿命

(年)【図90】男性



「平成27年都道府県別生命表」厚生労働省

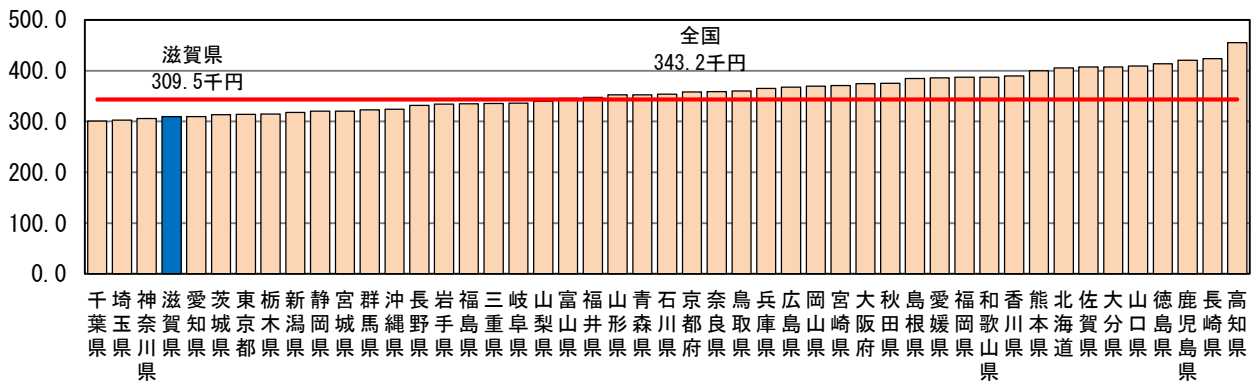
(年)【図91】女性



「平成27年都道府県別生命表」厚生労働省

■ 国民医療費

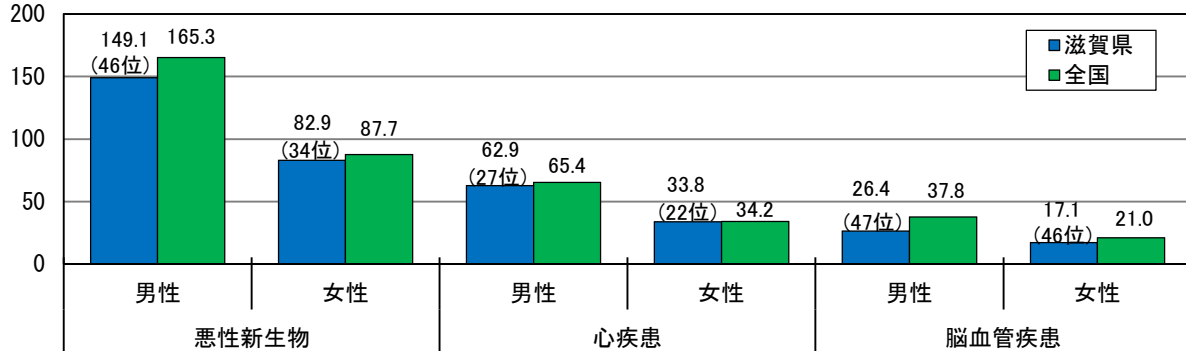
(千円)【図92】1人当たり国民医療費



「平成30年度国民医療費」厚生労働省

■ 3大死因による死亡率

(人)【図93】年齢調整死亡率*3 (人口10万対)



*3 都道府県別に死亡数を人口で除した死亡率を比較すると、各都道府県の年齢構成の差により、高齢者の多い都道府県では高くなり、若年者の多い都道府県では低くなる傾向があるため、異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率

「平成27年都道府県別年齢調整死亡率の概況」厚生労働省

- ・平成27年都道府県別生命表によると、男性の平均寿命は81.78年で全国1位、女性の平均寿命は87.57年で全国4位である。(図90)(図91)
- ・平成30年度の1人当たりの国民医療費は、309,500円で全国で4番目に少ない(全国平均343,200円)。(図92)
- ・平成27年の3大死因での死亡率を全国と比較すると、「悪性新生物」、「心疾患」、「脳血管疾患」のいずれも全国値を下回っている。(図93)